

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	民間建立慰霊碑等管理促進事業			担当部局庁	社会・援護局			作成責任者			
事業開始年度	平成15年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	事業課			吉田 和郎			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	厚生労働省設置法第4条第1項104の2 厚生労働省組織令第108条			関係する計画、 通知等	-						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	民間団体等が国内外に建立した日本人戦没者の慰霊碑について、経年劣化等により維持管理状況が不良となっているものがあることから、当該慰霊碑の適切な管理を行うことを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	海外民間慰霊碑については、建立者等が不明の慰霊碑は現地政府や地権者等と協議を行ったうえ、移設、埋設等を行う。また、建立者等が明らかな場合は、慰霊碑等の適切な維持管理を行うよう要請するとともに、維持管理を行うことが困難な場合は、建立者等に同意を得たうえで、移設、埋設等を行う。平成28年度から、国内民間慰霊碑については、建立者等が不明かつ状態が不良の慰霊碑について、自治体が移設、埋設等を行う場合に一定の補助を行う。(補助率:国1/2)										
実施方法	委託・請負、補助										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	11	17	28	26	26				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		11	17	28	26	26				
	執行額		11	17	12	-					
	執行率 (%)		100%	100%	43%	-					
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		100%	100%	43%	-						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	遺骨収集等派遣費補助金		16	16	-						
	遺骨収集等委託費		10	10	-						
	計		26	26	-						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	国内外の民間建立慰霊碑のうち、国外では30基及び国内では63基の慰霊碑について、移設・埋設等を行う。		移設・埋設等を行った民間建立慰霊碑数		成果実績	基	58	34	28	-	-
					目標値	基	100	170	103	-	93
					達成度	%	58	20	27	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)		国内民間建立慰霊碑の状況調査結果									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	維持管理不良とされている民間建立慰霊碑の調査数				活動実績	基	86	230	-	-	-
					当初見込み	基	100	350	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	移設・埋設等を行った民間建立慰霊碑数				活動実績	基	-	-	28	-	-
					当初見込み	基	-	-	103	93	98

単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込
	X: 民間建立慰霊碑移設・埋設に要した経費/Y: 各年度の調査対象慰霊碑数	単位当たりコスト	千円	125	75.6	-	-
		計算式	X/Y		10,754千円/86基	17,383千円/230基	-

単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込
	X: 民間建立慰霊碑移設・埋設に要した経費/Y: 各年度の移設・埋設等対象慰霊碑	単位当たりコスト	千円	-	-	426	275.9
		計算式	X/Y		-	-	11,928千円/28基

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	戦傷病者・戦没者遺族等への援護、戦没者の遺骨の収集等を行うこと(Ⅶ-3)							
	施策	戦没者遺骨収集事業の推進等により、戦没者遺族を慰藉するとともに中国残留邦人等に対する自立支援等を行うこと(Ⅶ-3-2)							
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		-	実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	民間団体等が国内外に建立した日本人戦没者の慰霊碑等のうち、維持管理状況が不良である慰霊碑について、移設・埋設等の対応を行う。これにより、戦没者遺族の慰藉につながる。								
	改革項目	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-
目標値			-	-	-	-	-	-	
達成度			%	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-
	目標値		-	-	-	-	-	-	
	達成度		%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									

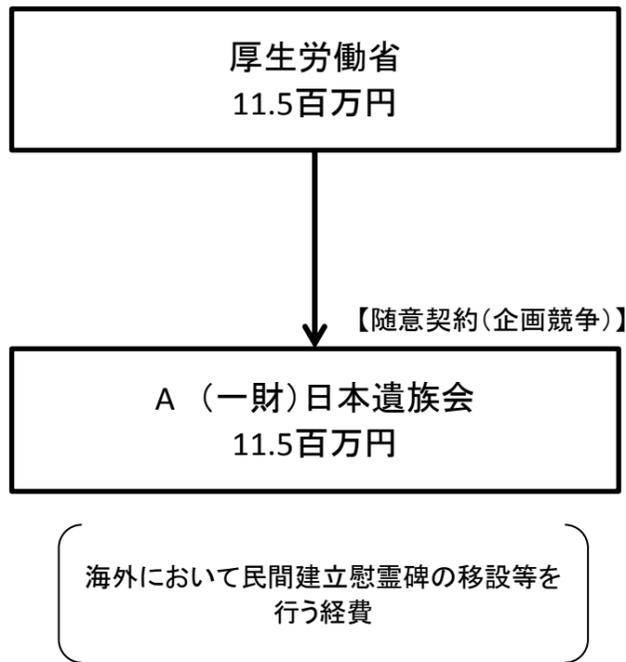
**事業所管部局による点検・改善**

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	戦没者遺族の慰藉の観点からも未整備慰霊碑が放置されることは適切でなく、民間建立慰霊碑の問題は国会質問等でも取り上げられている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国として、戦没者慰霊碑が放置されることは適切ではないため、国が実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	戦没者遺族の慰藉の観点からも未整備慰霊碑が放置されることは適切でないため、継続的に事業を実施する必要があり、その優先度も高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	適切な計画による調査や調整等を行うことに加え、慰霊事業の趣旨や事業内容を深く理解している必要があるために企画競争により、委託先を選定している。なお、一者応札となった契約については、公告期間の延長や業者への声掛けを行い、競争性の確保に努める。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	コストについては、事業実施地域国の状況により変動があるが、事業の実施状況及び実績報告書の内容の精査を行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業の実施に必要なものだけに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△	平成28年度からの新規事業である国内民間建立慰霊碑移設等事業についての所要の手続きに時間を要し、事業の開始が年度後半になったため。

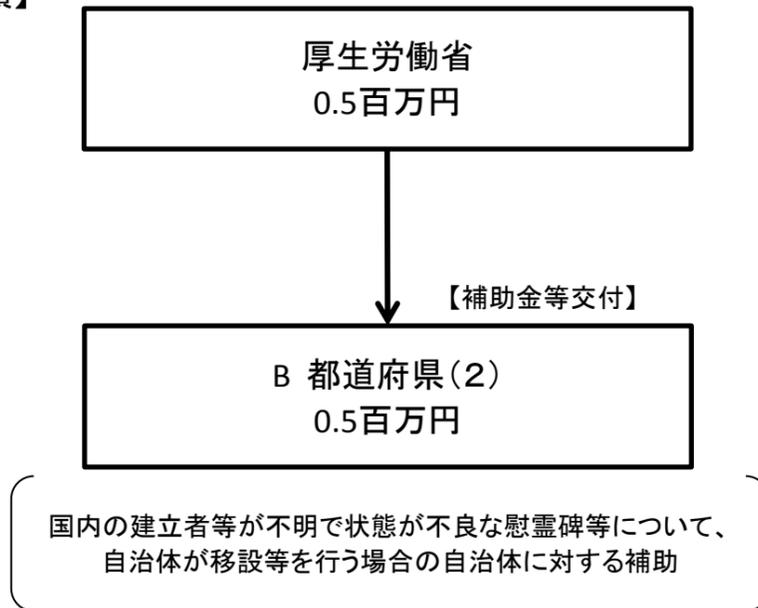
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-				
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事前に現地状況を把握することにより、必要最小限の調達をする等工夫をしている。				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	実績が目標を下回っているのは、海外民間慰霊碑について、現地の天候不良や現地関係者との調整がつかなかったことにより移設等ができなかったものがあつたこと、また、国内民間慰霊碑について、平成28年度からの新規事業であつたため、所要の手続きに時間を要し、事業の開始が年度後半になったことによるものである。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業を効果的に実施するため、適切な計画による調査や現地政府との調整等を行うことに加え、慰霊事業の趣旨や事業内容を深く理解している団体に委託を選定し実施している。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	実績が目標を下回っているのは、海外民間慰霊碑について、現地の天候不良や現地関係者との調整がつかなかったことにより移設等ができなかったものがあつたこと、また、国内民間慰霊碑について、平成28年度からの新規事業であつたため、所要の手続きに時間を要し、事業の開始が年度後半になったことによるものである。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	慰霊碑は、国や自治体等が実施する慰霊巡拝の現地慰霊に活用されている。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	事業の役割はそれぞれ以下の通りである。 ・慰霊碑の維持管理等事業・・・国が建立した戦没者慰霊碑の維持管理や国において旧ソ連抑留中死亡者の小規模慰霊碑建立を行う。 ・民間建立慰霊碑等管理促進事業・・・民間団体等が建立した慰霊碑について、建立者の特定や維持管理の指導及び慰霊碑の移設・埋設等を行う。				
	所管府省名	事業番号	事業名				
	厚生労働省	0716	慰霊碑の維持管理等事業				
点検・改善結果	点検結果	活動実績については、海外民間慰霊碑について、現地の天候不良や現地関係者との調整がつかなかったことにより移設等ができなかったものがあつたこと、また、国内民間慰霊碑について、平成28年度からの新規事業であつたため、所要の手続きに時間を要し、事業の開始が年度後半になったことにより、見込みより少なくなっている。					
	改善の方向性	海外民間慰霊碑については、現地の天候不良や現地関係者との調整がつかなかったものを除けば、着実に移設等が行われていることから、引き続き必要な経費を精査し適切に当該事業を実施していくこととする。国内民間慰霊碑については、事業の実施状況を注視しつつ、必要な経費を精査し、適切に事業を実施していくこととする。					
<b>外部有識者の所見</b>							
H28年度の執行率の低調さは理解できた。使途Aについてはこれまでの応札状況を勘案しながら、公募などの契約方式を勘案し、価格交渉する余地もあるのではないか。(井出 健二郎)							
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>							
事業内容の一部改善の	事業の早期執行に努めること。また、民間建立慰霊碑等整理事業(海外)については、価格交渉の余地がないか検討すること。						
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>							
改善度を内検に	海外民間建立慰霊碑移設等事業については、これまでの応札状況を勘案し、平成29年度から公募による契約方式を採用している。引き続き必要な経費を精査し適切に当該事業を実施していくこととする。						
<b>備考</b>							
-							
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>							
平成22年度	465	平成23年度	423	平成24年度	369		
平成25年度	734	平成26年度	732	平成27年度	748		
平成28年度	715						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

①海外民間建立慰霊碑移設等事業  
【平成28年度実績】



②国内民間建立慰霊碑移設等事業  
【平成28年度実績】



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.(一財)日本遺族会			B.百万円を超える支出が無いため省略		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
旅費	外国旅費、内国旅費	3.7				
雑役務費	通訳等雇上等	2.8				
借料及び損料	車両借上等	2.2				
賃金	事務補助職員雇上	1				
消費税	消費税	0.9				
その他	通信運搬費、消耗品費、印刷製本費等	0.9				
計		11.5	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一財)日本遺族会	9010005003575	海外に建立されている民間建立慰霊碑の移設等を行う経費	11.5	随意契約 (企画競争)	1	100%	-

